《チューブストッカーＭＳ－０１２取扱説明書》

１　はじめに

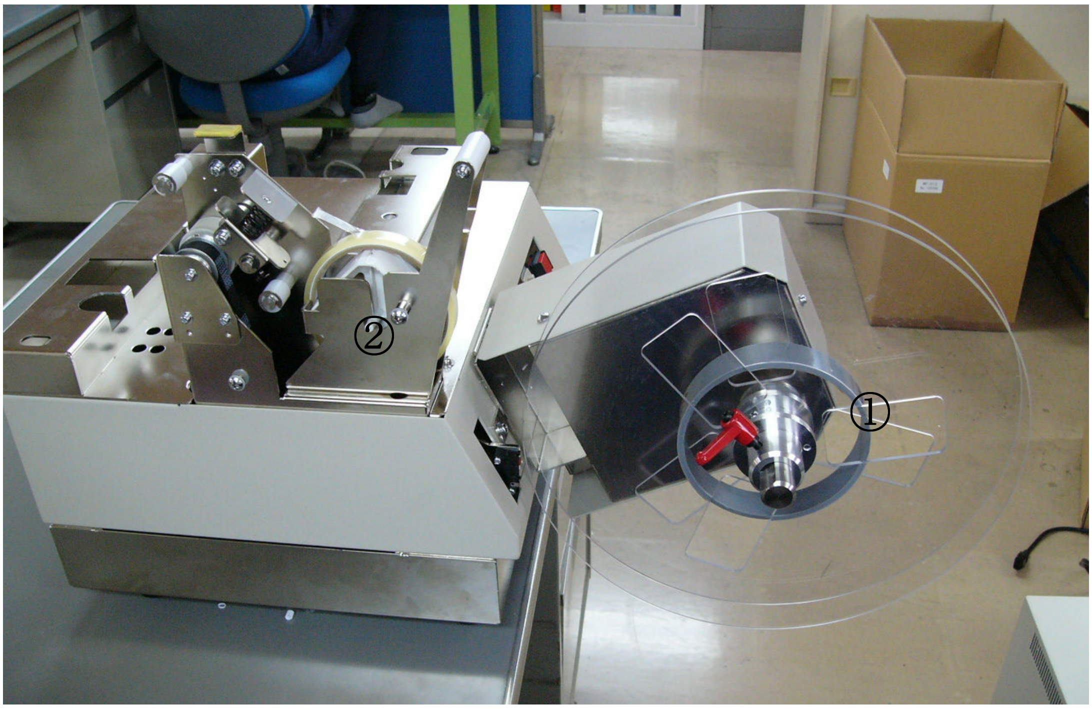
　チューブストッカーＭＳ－０１２はチューブプリンター本体(MP－０１２)とセットすることにより、全カットされたチューブを市販のセロテープに貼り付け整列しドラムに巻き取る機能を持った装置です。(セロテープはニチバン製 12mm 幅を使用します。)

　本説明書は納入時の設置から日常ご使用になる場合の注意事項、トラブル防止等の方法も記載しておりますので、使用前に必ずお読みいただくとともに設置された機械の側に大切に保管してください。

２　製品仕様

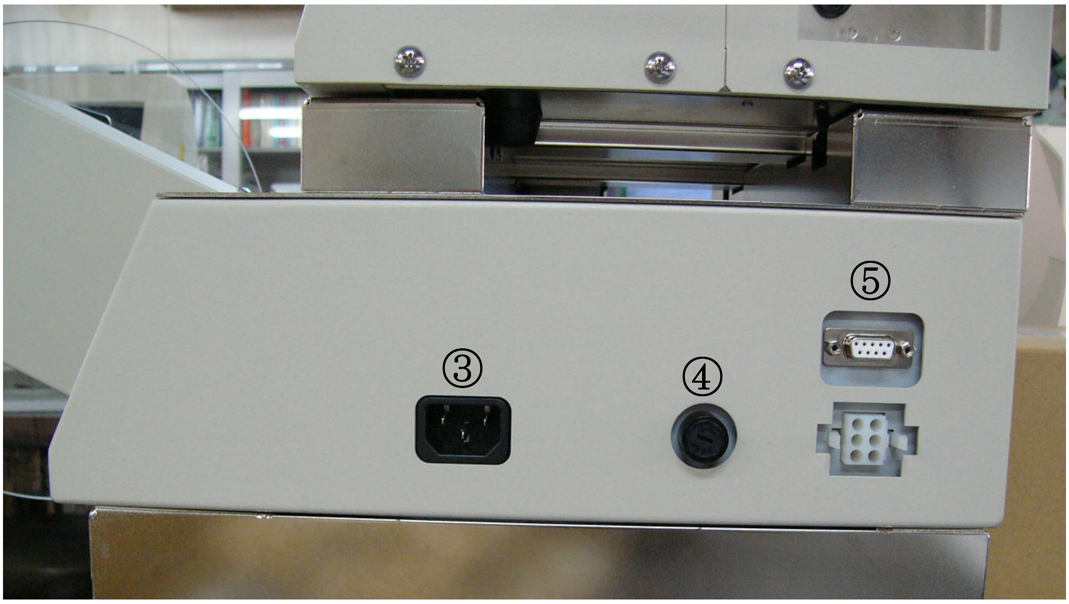
ワークサイズ	３φ～６φ(通常チューブのみ)
巻き取り可能ピッチ	10～30mm
最大巻取り量	約4，000個(３φ)
使用巻き取りテープ	ニチバン製　12mm幅
電源	AC100V±10%　　50/60Hz
消費電力	150W以下
周囲条件	温度　動作時　10～25℃　　湿度　動作時　25～40% 　　　保存時　0～40℃　　　　　　保存時　30～90% **※結露なきこと**
サイズ	360(W)×600(D)×350(H)mm(巻き取りリールを含む)
重量	約14.5Kg

3　各部名称



①　テープ巻き取りリール

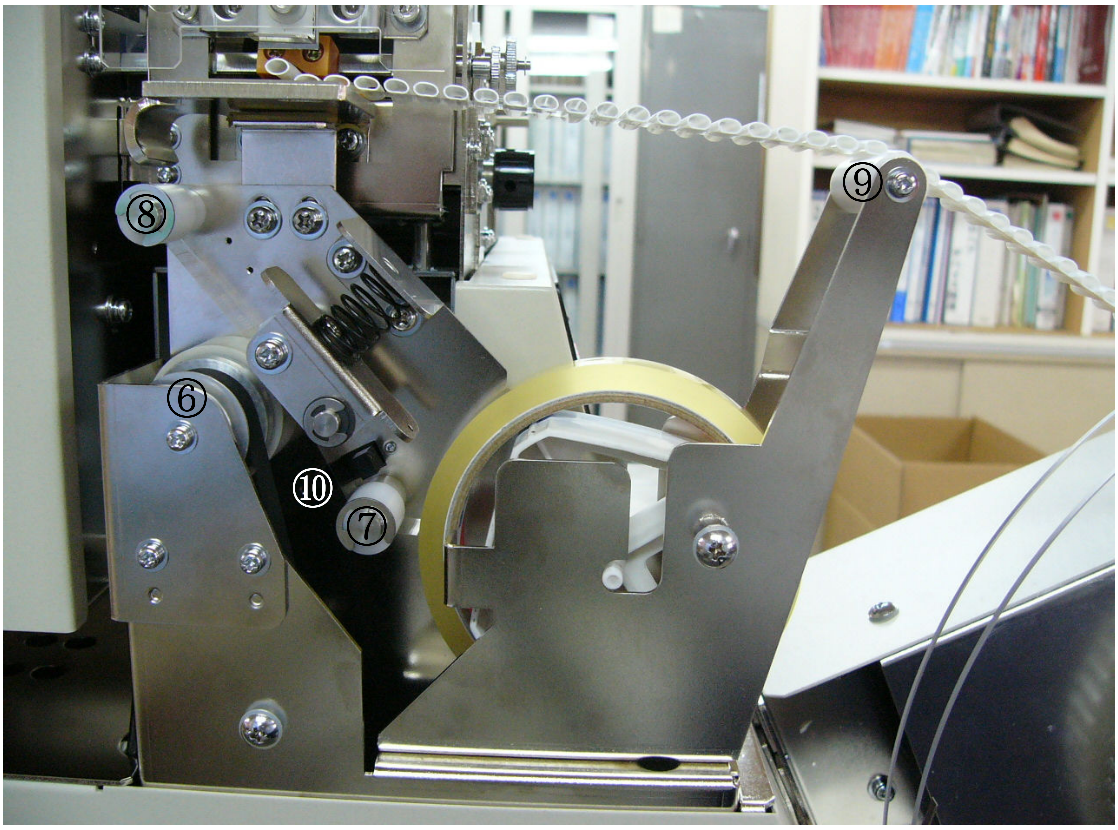
②　テープセットリール



③　電源ケーブルコネクター

④　ヒューズ

⑤　本体接続ケーブルコネクター



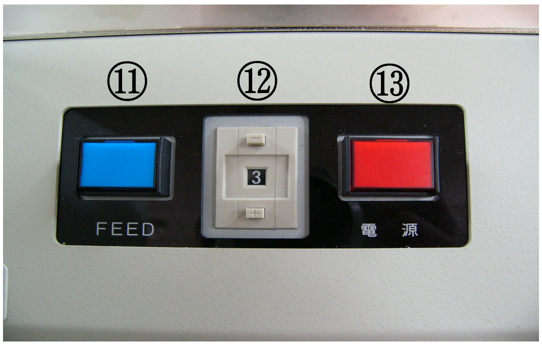
⑥　テープフィードローラー

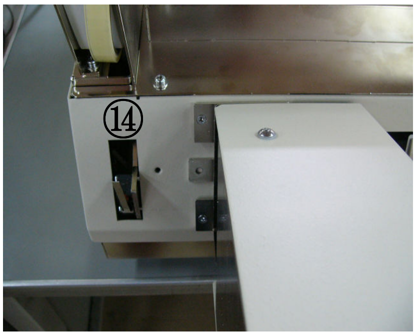
⑦　テープガイドＡ

⑧　テープガイドＢ

⑨　テープガイドＣ

⑩　テープエンド検出センサー





⑪　テープフィードボタン

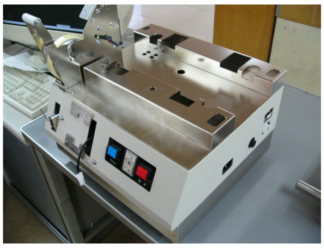
⑫　テープフィード量調整スイッチ

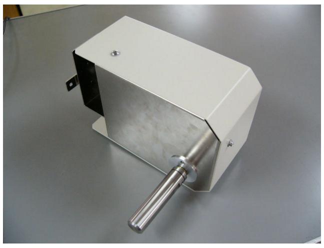
⑬　電源ボタン

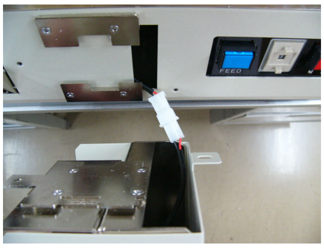
⑭　チューブ巻き取りオーバー検出センサー

４　設置

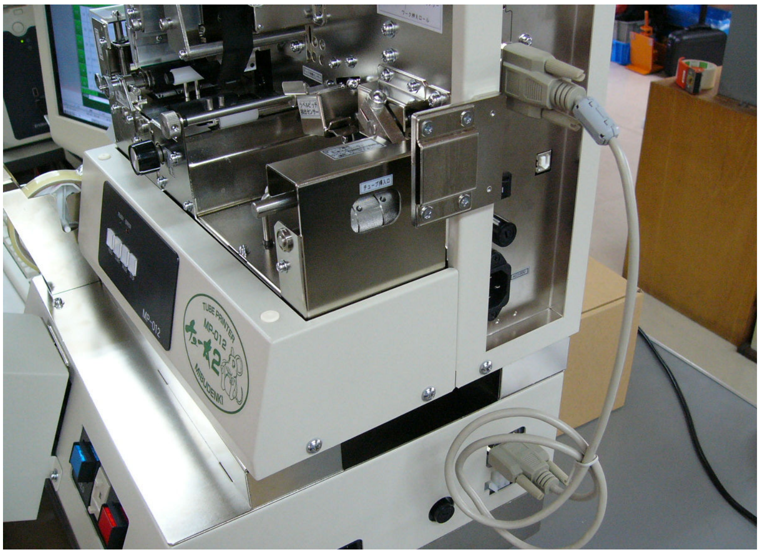
１）納入時にはストッカー本体とチューブ巻き取り部が分離していますので、両間のコネクタを接続してから巻き取り部を取り付けて両サイドをＭ４ネジで固定します。



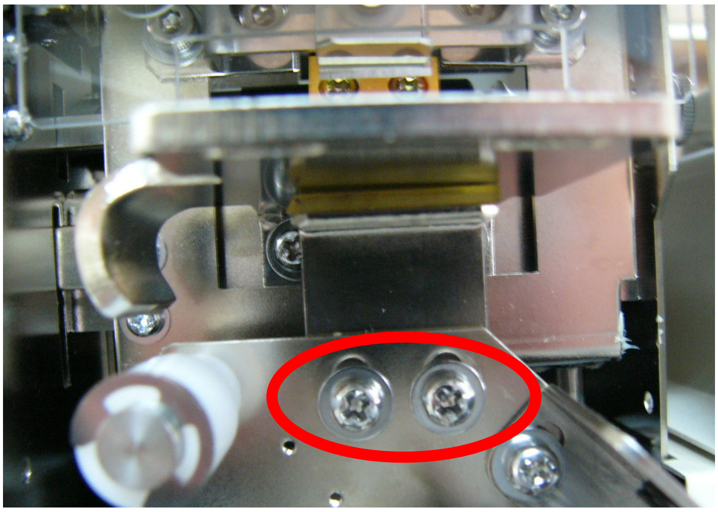




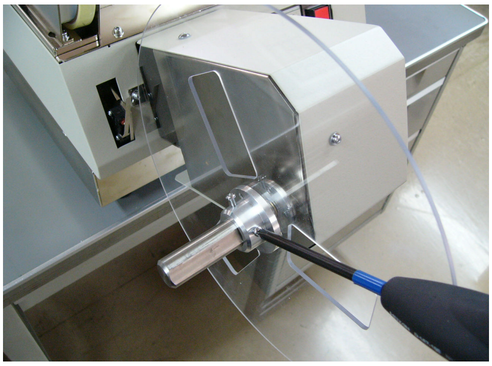
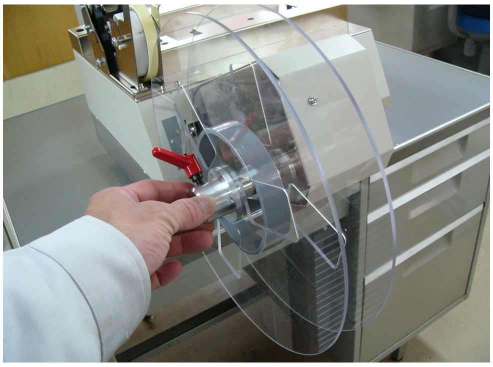
２）プリンター本体のカッターユニットがストッカー仕様になっている事を確認の上ストッカー本体上にはめ込みます。正しくはめ込まれたことが確認できましたら、プリンター⇔ストッカー接続ケーブル等を取り付けます。



３）ストッカー側のカッターまな板補助台のＭ４ネジ(下図内赤丸)を緩め、プリンター側まな板台にしたから支えるように合せてネジを固定してください。

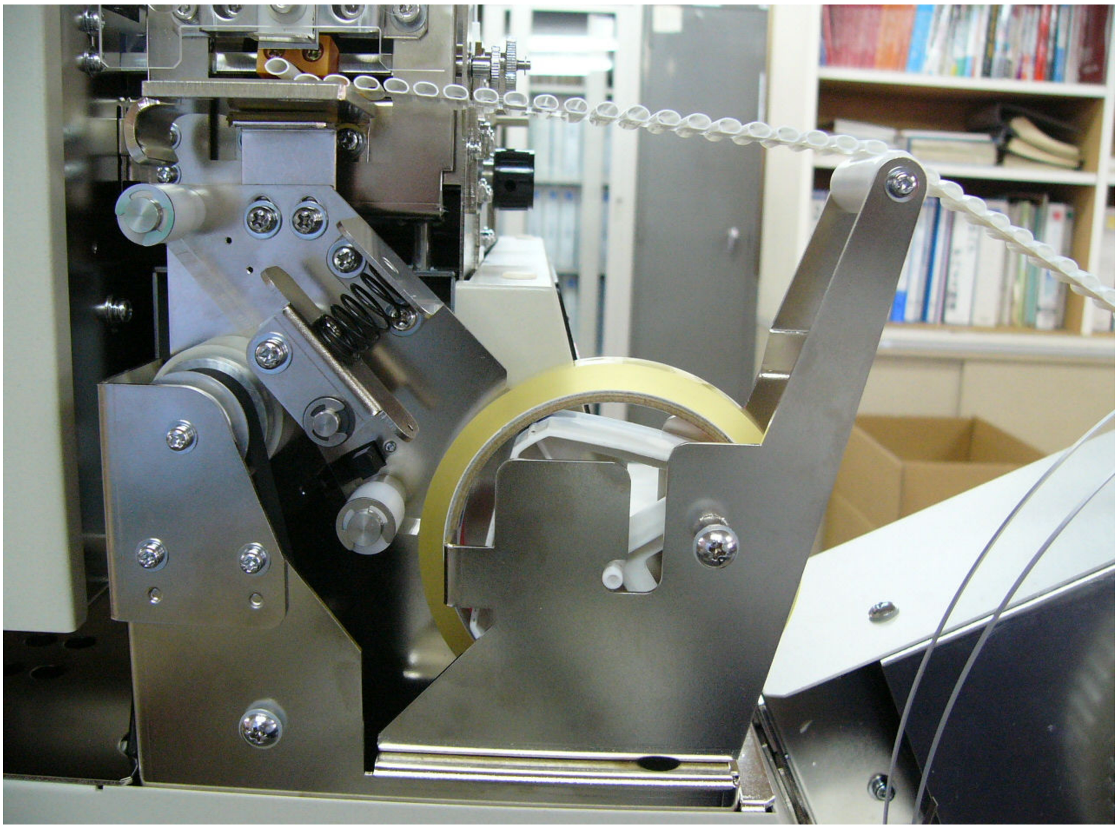


４）テープの搬送位置に合せて巻き取りリールユニット右（Ｍ４ネジ×２付属のほう）を取り付けてから巻き取りリール左（固定用ハンドル付属のほう）をはめ込みます。

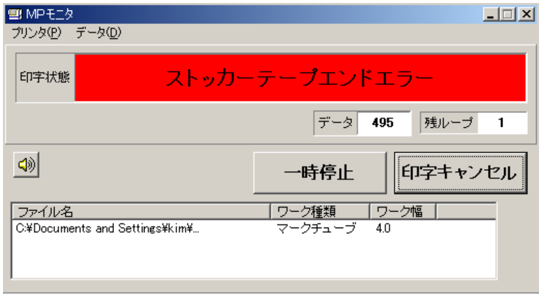
以上で設置は完了となりますので、プリンター側のインストール作業が完了してから電源を入れてください。

５　セロテープの通し方

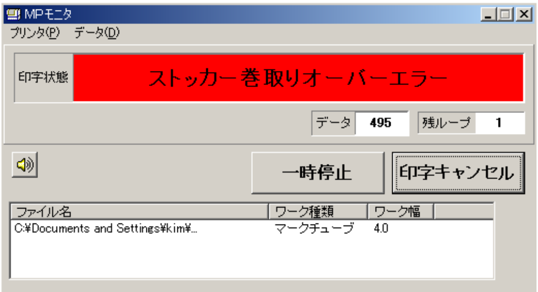


１）テープセットリールに糊面が下になるようセロテープを取り付け、
２）テープガイドＡの下を通し
３）テープフィードローラーと押さえローラーの間を通し、
４）テープガイドＢの外側を通し、
５）カッターまな板台とテープガイドＣの上側を通し
６）チューブ巻き取りリールに固定します。

６　ストッカー動作時のエラー



ストッカーテープエンドエラー（Ｅ－０８）
セロテープが無くなった時に表示されます。



ストッカー巻き取りオーバーエラー
（Ｅ－０９）
チューブ巻き取りリールが満杯になった時に
表示されます。

プリンター本体のエラーについてはプリンター側マニュアル（Ｐ１４）をご参照ください。

７　注意事項

※　ストッカーを使用されるときは、印字命令前に電源が入っていることを確認してください。

※　テープフィードローラーは、経年使用でセロテープの糊が含有されることにより送り精度が出なくなり、チューブ詰まり等の原因となりますので、セロテープ交換時等定期的な清掃をお願いします。

※　ストッカー動作時はチューブを全カットで連続使用しますので、通常動作に比べカッター刃の劣化が著しく激しくなりますので、交換頻度を高めてご使用していただくようお願いします。

８　終わりに

もしストッカー動作上わからないところがございましたら、

壬生電機製作所お問い合わせ番号
０７５（６８１）８５６１
プリンター関連お問い合わせメールアドレス
printer@mibudenki.co.jp

まで、お気軽にお問い合わせください。
今後とも壬生電機製作所製品をよろしくお願いいたします。